

奈良県立万葉文化館蔵

『日本霊異記』解題

竹内 亮

【書誌情報】

（貴重書番号…ロ45）

〔体 裁〕 版本、袋綴、四つ目綴、三冊

〔表 紙〕 題簽「日本霊異記」（上、中、下）

下冊題簽注記「柳枝軒蔵板」

〔料 紙〕 楮紙

〔行 数〕 本文十行二十一字詰

〔寸 法〕 縦二六・五cm、横一七・五cm

〔刊 年〕 正徳四年甲午孟夏

〔書 肆〕 京六角通御幸町西^江入町 書林茨木多左衛門

【解説】

京の版元茨木多左衛門（小川多左衛門、屋号「小河屋」、軒号「柳枝軒」）より正徳四年（一七二四）四月に刊行された『日本霊異記』

（以下、霊異記）の書き下し抄出本。「仮名本霊異記」として従来より知られていたもので、原典から七〇話を抜粋して配列を改編、各

話の題を変更し、本文を漢字仮名交じり抄出文とする。下冊奥書には元禄八年（一六九五）六月十八日の釋氏某の誌として「霊異記は元は漢字で記していたが、この書は和字で抄しており、思うに後の人が童蒙を教え諭し易いようにこのようにしたものか」とあり、一七世紀末にはこのような仮名本霊異記が成立していたらしい。抄出の際に原典を改変しており、登場人物の削減、出版当時の近世には既に廃れていた古代的社會慣行の省略といった内容簡略化が随所にみられる。各冊の巻頭に掲げる目録には各話題名に続けて「偷盜ヲ戒ム」「慾心ヲ戒ム」などの徳目を部分的に付記し、仏教的道德観を前面に出す。奥書にあるように、教育用ないしは説法用テキストとしての使用を念頭に置いた可能性がある。

茨木多左衛門刊の仮名本霊異記は、当館のほか、愛知県立大学、関西大学、京都大学、龍谷大学、西尾市岩瀬文庫等に所蔵される（国文学研究資料館「新日本古典籍総合データベース」による）。このうち関西大学本、岩瀬文庫本は上中下を合綴した一冊本、他は当館本と同じく三分冊本である。なお、国立国会図書館には明治十四年（一八八二）の平楽寺村上勘兵衛による本書の再版本があり（国立国会図書館オンライン書誌ID 000000462970）、明治期までこうした仮名本霊異記が市中に出回っていたことが知られる。

以下、本書の各冊ごとの目録、および対応する霊異記原典の話数（上巻第一縁を（上1）と略記）を掲げておく。

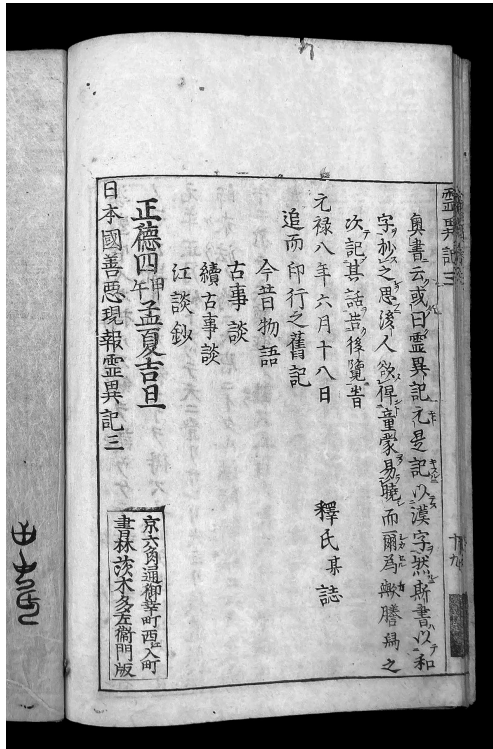
- 上冊 (日本国現報善悪靈異記一目錄)
- 一 膳臣広国地獄ニ墮テ蘇ル事 觀音經ノ功德 (上30)
 - 二 御手代東人觀音ヲ祈リテ福ヲ得ル事 (上31)
 - 三 白髮部猪磨三寶ヲ信ゼズシテ枉死スル事 邪見ノ報 (上29)
 - 四 長屋王沙弥ヲ打擲シテ報フ事 右ニ同 (中1)
 - 五 烏ノ邪淫ヲ見テ世ヲ厭事 (中2)
 - 六 吉志火麻呂己ガ母ヲ殺サントシテ地破テ陷事 (中3)
 - 七 力女力ヲ競ル事 (中4)
 - 八 放生殺生善惡ノ報ノ事 (中5)
 - 九 大伴赤磨寺ノ物ヲ返サズ死シテ犢ト生ルル事 偷盜ノ罪 (中9)
 - 十 僧ヲ惡口シ惡病ヲ得テ死ル事 三寶ヲ敬セザルノ罪 (中11)
 - 十一 吉祥天女ノ像ニ祈テ感応アル事 信心ニヨツテ感アルノ証 (中13)
 - 十二 讚州ノ女反魂事 國王非業ノ死ヲ紀 (中25)
 - 十三 常ニ鳥ヲ殺シテ食フ者惡報ヲ得テ死ル事 殺生ノ罪ヲ擧 (中10)
 - 十四 仏像ヲ造畢ザル木靈異ヲ現ス事 (中26)
 - 十五 貧女王吉祥天女ニ祈テ靈感アル事 (中14)
 - 十六 放生ト不施ト善惡ノ報アル事 放生施物ノ功德 (中16)
 - 十七 觀音ノ銅像鴨ト化シテ奇表ヲ示タマフ事 (中17)
 - 十八 心經ヲ讀女閻魔王宮ニ至テ蘇生スル事 般若心經ノ功德 (中19)
 - 十九 金熟行者執金剛ノ利生ヲ蒙ル事 (中21)
 - 二十 弥勒菩薩ノ銅像言ヲ出シ給フ事 (中23)
- 中冊 (日本国現報善悪靈異記二目錄)
- 一 尾張宿祢久玖利ガ妻強力ノ事 (中27)
 - 二 丹生弟上ガ女子舍利ヲ握テ生ルル事 (中31)
 - 三 物部麻呂藥王寺ノ米ヲ返サズシテ牛トナル事 偷盜ヲ戒ム (中32)
 - 四 鎌作ガ女子鬼魅ニ噉ルル事 慳心ヲ戒ム (中33)
 - 五 觀音人ト化シテ貧女ヲ惠ミ給事 (中34)
 - 六 宇遲王法師ヲ打擲シテ惡病ヲ得ル事 (中35)
 - 七 慳貧ニヨツテ大蛇トナル僧ノ事 (中38)
 - 八 藥師ノ木像沙中ニ埋レテ靈異ヲ示シ給事 (中39)
 - 九 沙門觀音ニ祈テ報ヲ得ル事 (下3)
 - 十 法華經ヲ写シ奉ル僧邪淫ヲナシテ惡死スル事 (下18)
 - 十一 淫奔ノ女己ガ兒ニ乳ヲ飢シテ惡報ヲ得ル事 (下16)
 - 十二 法華經火ニヤケザル事 (下10)
 - 十三 乞食沙弥ヲ打擲シテ報事 (下15)
 - 十四 弥勒菩薩化現ノ事 (下8)
 - 十五 大海ニ漂流セル人釈迦如来ヲ念シテ命ヲ助ル事 (下25)
 - 十六 金剛經ノ功力ニヨツテ盲タル眼開ク事 (下21)
 - 十七 觀音ノ靈感ニヨツテ眼開ク事 (下12)
- 下冊 (日本国現報善悪靈異記三目錄)
- 一 法華經ヲ持ル僧ヲ欺テ口ユガミテ死ル事 (中18)
 - 二 法華經ヲ写ス女ヲ譏リテ白癩トナル事 (下20)

- 十八 妙見菩薩鹿トナツテ盗人ヲ躰シタマフ事（下5）
- 十九 観音ノ助ヲ蒙テ難ヲ遁ルル事（下7）
- 二十 大伴忍勝地獄ニ入テ蘓ル事（下23）
- 廿一 未造畢仏像呻音ヲ出シタマフ事（下17）
- 廿二 殺生ノ者再生ニ狐狗トナツテ恨ヲ報ズル事（下2）
- 廿三 他田舎人蝦夷人ノ物ヲ取テ法華経ヲ写ユヘ善悪ノ報アル事
（下22）
- 下冊（日本国現報善悪霊異記三目錄）
- 一 栖軽雷ヲ捕事（上1）
- 二 狐ヲ妻トシテ子ヲ生シムル事（上2）
- 三 雷ノ歛ヲ得テ強力ノ子ヲ生事（上3）
- 四 沙門願覚ハ仙人タル事（上4）
- 五 観音ヲ信敬シテ現報アル事（上6）
- 六 亀ヲ放チテ報アル事（上7）
- 七 聲方広経ヲ敬シテ耳キコユル事（上8）
- 八 子ノ稲ヲ盗デ牛トナル事（上10）
- 九 殺生ノ報ニヨツテ火病ヲ受ル事（上11）
- 十 漆部造麻呂ガ妻仙人トナル事（上13）
- 十一 心経ヲ読デ室中ニ光アル事（上14）
- 十二 悪人乞食ノ僧ヲ責テ呪縛セラルル事観音経ノ功德（上15）
- 十三 兎ノ皮ヲ剥デ報事殺生ノ罪（上16）

- 十四 擒ニナツテ唐ニ至レル者観音ヲ信ジテ帰朝スル事（上17）
- 十五 大和ノ国ノ人観音ノ御告ニヨツテ前生ノ父母ニ遇事（上18）
- 十六 法華経ヲ読人ヲ譏テ口ユガム事（上19）
- 十七 薪ヲ偷メル僧牛トナル事観音ノ利益（上20）
- 十八 慈心ナキ者悪報ヲ得ル事生ヲ憐ザルノ罪（上21）
- 十九 道照法師寂スルトキ異表ヲ示ス事（上22）
- 二十 不孝ノ者天罰ヲ蒙ル事（上23）
- 廿一 不孝ノ女悪死スル事（上24）
- 廿二 忠臣諸天ノ感応ニアツカル事（上25）
- 廿三 石川沙弥灯塔柱ヲ伐テ悪死スル事（上27）
- 廿四 百濟禪師多常人ノ病ヲ祈テ愈事（上26）
- 廿五 孔雀明王ノ呪ヲ修シ仙トナツテ登天スル事（上28）

注

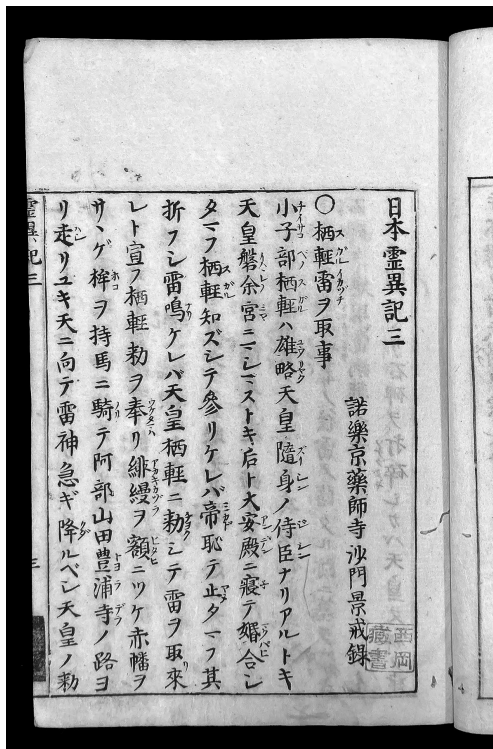
狩谷掖斎が早くに指摘しているように、仮名本には霊異記の抄本である高野本（金剛三昧院系統本、計七九話を収録）で省かれている説話が全く収録されておらず、高野本から更に抄出したものと考えられる（小泉道「仮名本日本文異記について」『日本霊異記諸本の研究』清文堂出版、一九八九年）。



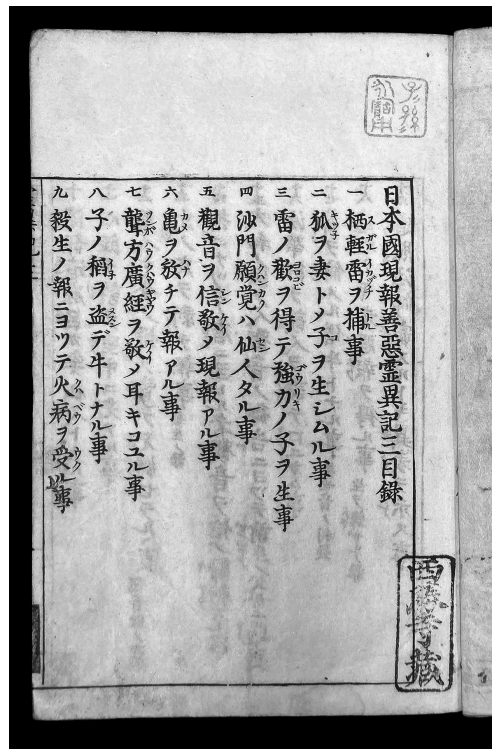
刊記



下冊表紙



下冊本文



下冊目錄